

## 秋田周辺圏域緩和ケア研修会2017進行表(案)

区分	研修内容	単位 (時間)	備考 (講師)
セ ッ シ ョ ン A	患者の視点を取り入れた全人的な緩和ケアについて(がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む) 【講義】	0.5 単位 (45分)	小松田
	苦痛のスクリーニングとその結果に応じた症状緩和について 【講義】	0.5 単位 (45分)	小松田
	がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和に係る治療計画などを含む具体的なマネジメント方法について(放射線治療や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点及び多様化する医療用麻薬の使用上の注意点などにも配慮した内容であること) 【講義】	1.0 単位 (90分)	小松田
	アイスブレーキング	(20分)	小松田
	がん疼痛についてのワークショップ ・グループ演習による症例検討 がん疼痛に対する治療と具体的な処方 【グループ演習】	1.0 単位 (90分)	小松田
	がん疼痛についてのワークショップ ・ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習 【ロールプレイ】	1.0 単位 (90分)	小松田
	小 計	4 単位 (380分)	
セ ッ シ ョ ン B	不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケアについて 【講義】	1.0 単位 (90分)	橋本
	呼吸困難、消化器症状等の疼痛以外の身体症状に対する緩和ケアについて(治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和も含む) 【講義】	1.0 単位 (90分)	小松田
	アイスブレーキング	(20分)	橋本
	がん患者の療養場所の選択、地域における医療連携、在宅における緩和ケアについて 【講義】	0.5 単位 (60分)	小松田
	がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについてのワークショップ(ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習)(がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む) 【ロールプレイ】	1.0 単位 (90分)	橋本
	がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについて(がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む) 【講義】	0.5 単位 (45分)	橋本
	小 計	4.0 単位 (395分)	